



**堺化学工業株式会社**

**2020年3月期**

# **決算説明会**

**2020年5月26日**

# 新型コロナウイルス感染症による影響・対応等

感染被害	当社グループにおいて従業員の感染なし。
工場運営	<p>検温、マスクの着用、アルコール消毒液の設置、工場や建物への出入管理の厳格化、出張や会議の制限およびWeb会議システム等の活用、時差出勤やテレワークの実施など、顧客、調達先、社員とその家族の安全確保ならびに感染予防と拡大防止に努めている。</p> <p>現時点では、工場の操業は関係会社を含め定常操業を行っている。</p>
物流・資材	現時点では大きな問題なし。

# 本説明会のポイント

## ■ 2020年3月期決算概要

- 有機化学品および化粧品材料、医療事業は堅調に推移したものの、米中貿易摩擦や中国景気減速の影響により、成長分野と位置付ける電子材料、安定的な事業と捉えている酸化チタン等の販売が振るわず、減収となった。
- 上記のとおり、工業向け製品の販売が低調に推移したことにより、減価償却負担の増加をカバーできず、また操業度低下に伴い単位当たりの固定費が上昇し、減益となった。

## ■ 2021年3月期について

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点では予測が困難なため、業績予想は一定の見通しが立った時点で開示する。
- 年間配当予想も未定とする。

## ■ 財務の健全性維持の取組み

- 2021年3月期に設備投資のピークを迎え、資金需要が増加する見込み。
- グループ内資金の効率化を図るほか、不急の設備投資の先送りや経費削減、棚卸資産の圧縮に取り組む。

# 目 次

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| <b>1. 2020年3月期決算概要</b> | <b>P. 5</b>  |
| <b>2. 2021年3月期について</b> | <b>P. 17</b> |
| <b>3. 財務の健全性維持の取組み</b> | <b>P. 22</b> |



---

# 2020年3月期 決算概要

---



# 2020年3月期業績概要（対前期）

金額単位：百万円

	2019.3		2020.3		増 減	
		売上高比		売上高比		
売上高	89,541	100.0%	87,177	100.0%	▲ 2,364	▲ 2.6%
営業利益	4,404	4.9%	4,015	4.6%	▲ 389	▲ 8.9%
経常利益	4,553	5.1%	4,208	4.8%	▲ 344	▲ 7.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,606	4.0%	2,535	2.9%	▲ 1,070	▲ 29.7%

ROE	4.6%	3.3%
-----	------	------

## ◆ 売上高

有機化学品および化粧品材料、医療事業は堅調に推移したものの、電子材料、酸化チタン、触媒が低調に推移し、減収となった。

## ◆ 営業利益

設備投資を行った電子材料、受託加工において減価償却負担の増加をカバーできず、また酸化チタン、触媒、樹脂添加剤の固定費上昇により、減益となった。



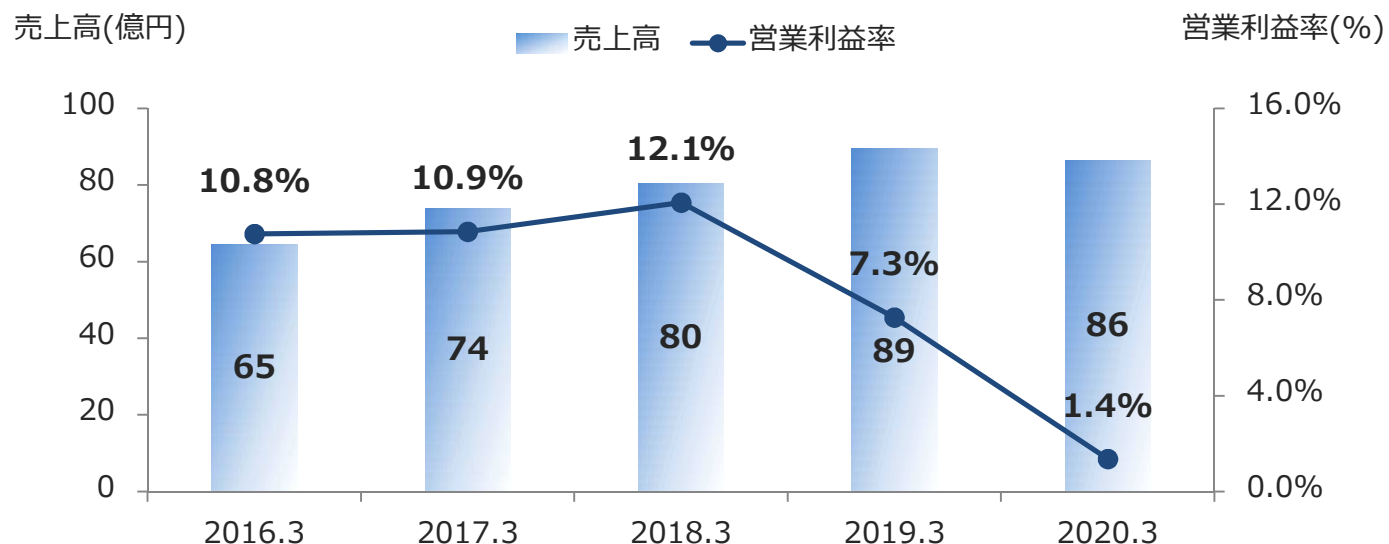
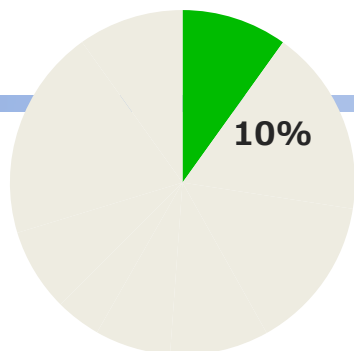
# 事業別売上高・営業利益

金額単位：百万円

		2019.3	2020.3	増 減	
化学事業	売上高	81,256	78,555	▲ 2,700	▲ 3.3%
	営業利益	6,326	5,614	▲ 712	▲ 11.3%
医療事業	売上高	8,285	8,621	336	4.1%
	営業利益	376	594	217	57.8%
全社費用	売上高	—	—	—	—
	本社部門費	▲ 2,297	▲ 2,193	—	—
合計	売上高	89,541	87,177	▲ 2,364	▲ 2.6%
	営業利益	4,404	4,015	▲ 389	▲ 8.9%

# 電子材料

化学

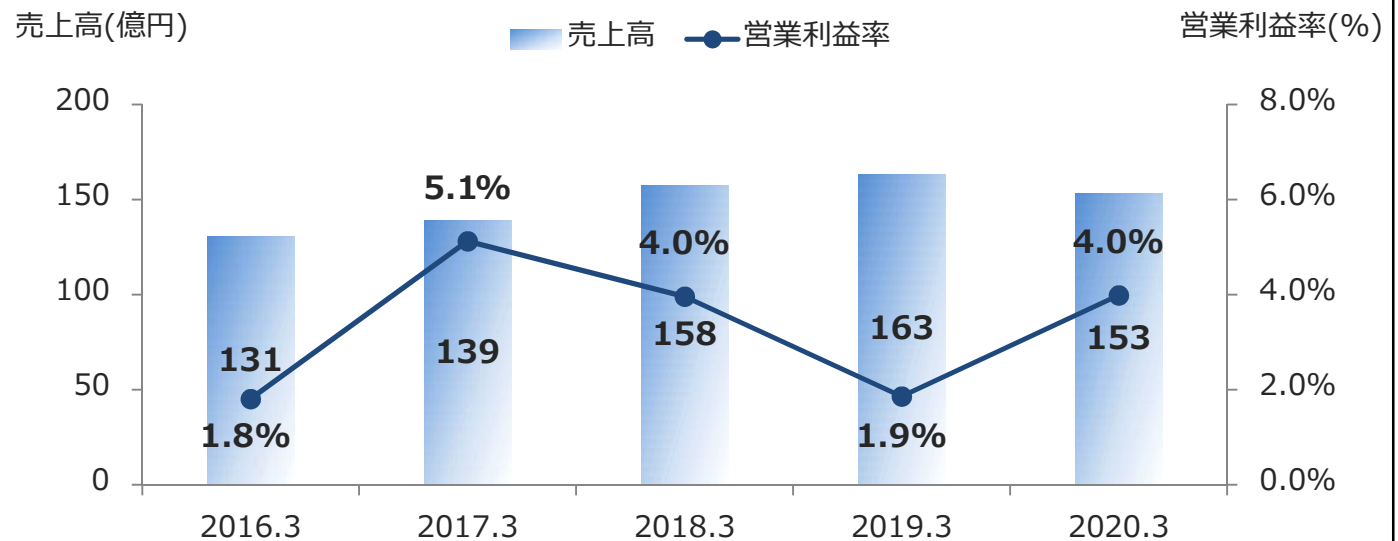
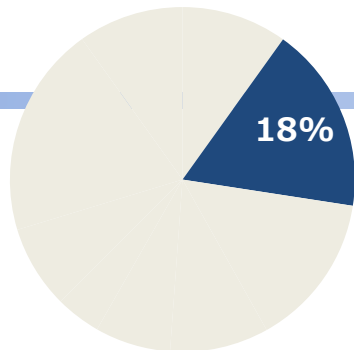


## 2020年3月期のポイント

- 電子部品の需要増加を見越し、積層セラミックコンデンサ向け誘電体（チタン酸バリウム）および誘電体材料（高純度炭酸バリウム）の設備増強を行った。しかし、米中貿易摩擦や中国景気減速等を背景とした在庫・生産調整の影響を受けたほか、一部開発品においては上市時期が遅れたことから、当年度の販売計画を大きく下回る結果となり、減価償却負担が増加し、売上・利益ともに減少した。
- **前期比 売上高▲318百万円(3.5%減)、営業利益▲534百万円(82.0%減)**



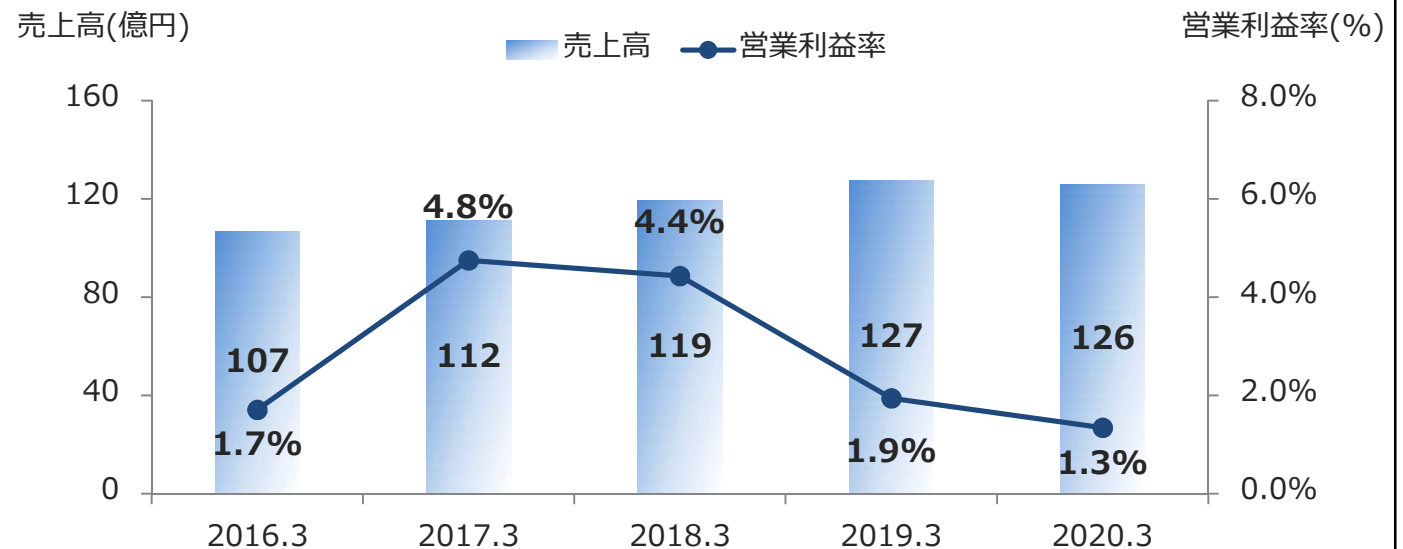
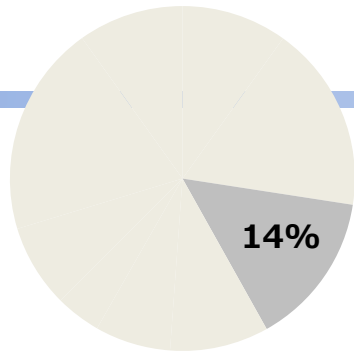
## 酸化チタン・亜鉛製品



## 2020年3月期のポイント

- 酸化チタンは、需給バランスが緩み、工業用途全般で販売が低調に推移した。操業度低下による単位当たりの固定費が上昇し、売上・利益ともに減少した。
- 化粧品材料の超微粒子酸化チタン・酸化亜鉛は、先進国に加えて新興国でのUVケア化粧品の需要増加により販売が好調に推移し、売上・利益ともに伸ばした。
- **前期比 売上高▲1,036百万円(6.3%減)、営業利益+306百万円(100.7%増)**

## 樹脂添加剤

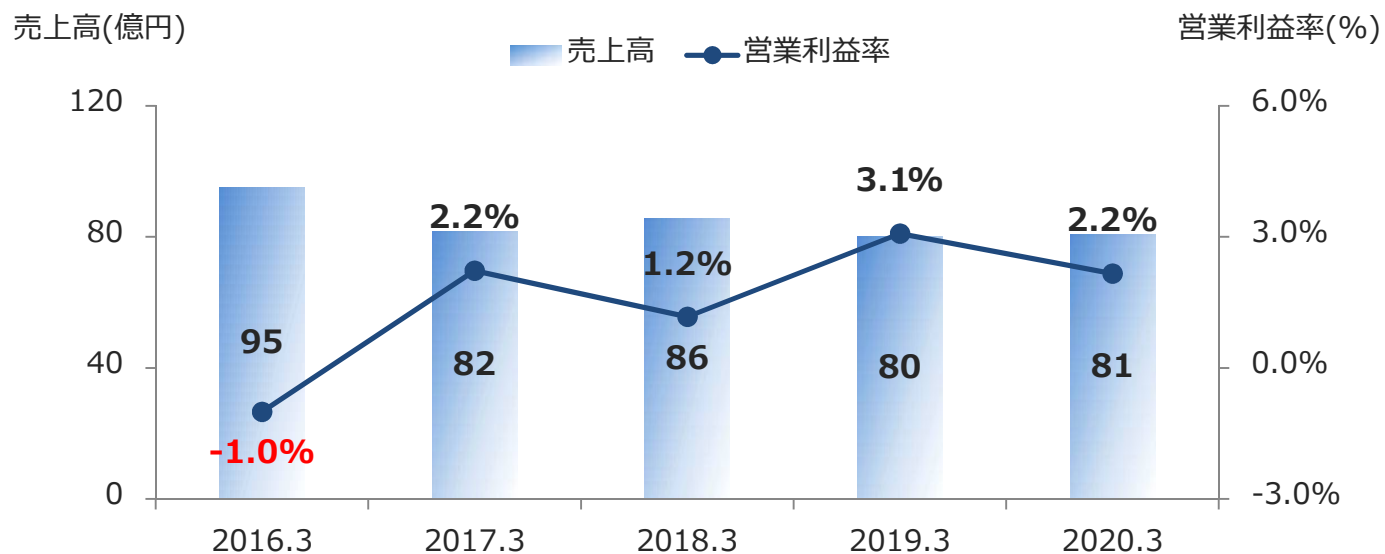
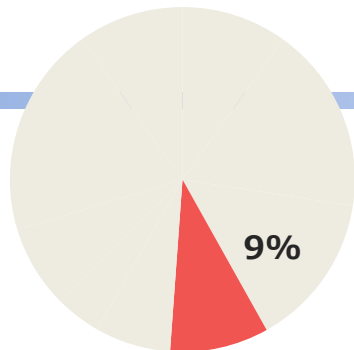


## 2020年3月期のポイント

- 国内においては、主力である塩ビ安定剤は成熟市場であり、管材用途およびIT関連設備用工業板用途への販売が低調に推移するとともに、製造コスト削減の体制整備に遅れも生じ、売上・利益ともに減少した。
- 海外においては、当社グループの位置する東南アジアは高い成長率が見込める中で、タイ現地法人の本格稼働の遅れ等により売上は減少したが、コスト削減に努め利益は改善した。
- **前期比 売上高▲162百万円(1.3%減), 営業利益▲79百万円(31.9%減)**

# 衛生材料

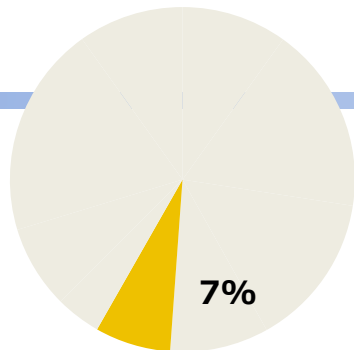
化学



## 2020年3月期のポイント

- 紙おむつ市場の競争が激化する中、売上は前年並みとなったが、歩留まり悪化により利益は減少した。
- **前期比 売上高+64百万円(0.8%増), 営業利益▲72百万円(29.3%減)**

## 有機化学品

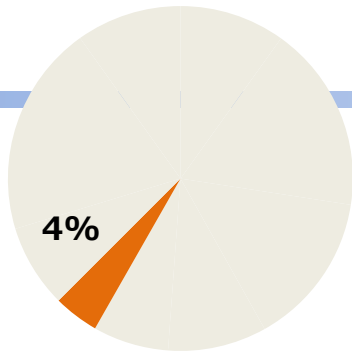


## 2020年3月期のポイント

- チオ製品は、高屈折率メガネレンズが各国の経済成長に伴い伸長していることを背景に、プラスチックレンズ用途の販売が好調に推移するとともに、生産の効率化施策の効果も現れ、売上・利益ともに伸ばした。
- 医薬品原薬・中間体の生産受託は、収益の大半を支えてきた主力中間体の減少を、2014年以降に立ち上がった複数原薬の伸びと顧客要望に応えたスポット生産・販売でカバーし、売上・利益ともに伸ばした。
- **前期比 売上高+253百万円(4.3%増)、営業利益+443百万円(53.5%増)**

# 触 媒

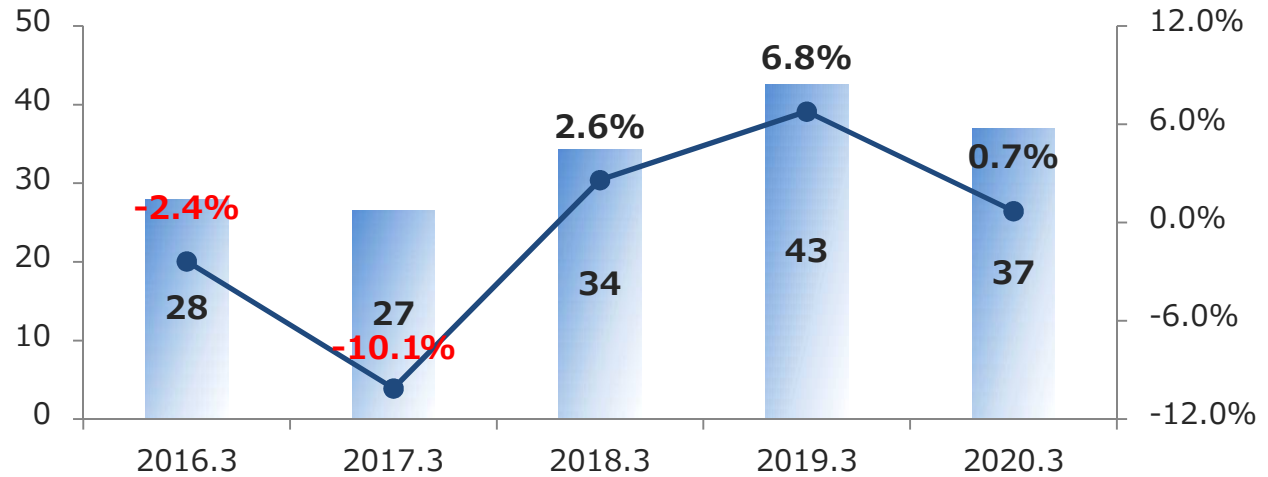
化 学



売上高(億円)

売上高 営業利益率

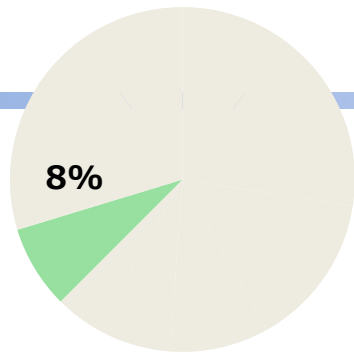
営業利益率(%)



## 2020年3月期のポイント

- ニッケル触媒は、石油樹脂の水素添加用途の需要が踊り場にある中で、主要顧客の定期修繕に伴う在庫調整が影響するとともに、効率的な生産体制の構築が遅れていることにより、売上・利益ともに減少した。
- 脱硝触媒は、国内取替需要や韓国向け新規受注を獲得できたが、前年度好調であった中国向け販売の大幅な減少を補えず、売上・利益ともに減少した。
- **前期比 売上高▲554百万円(13.0%減), 営業利益▲263百万円(91.0%減)**

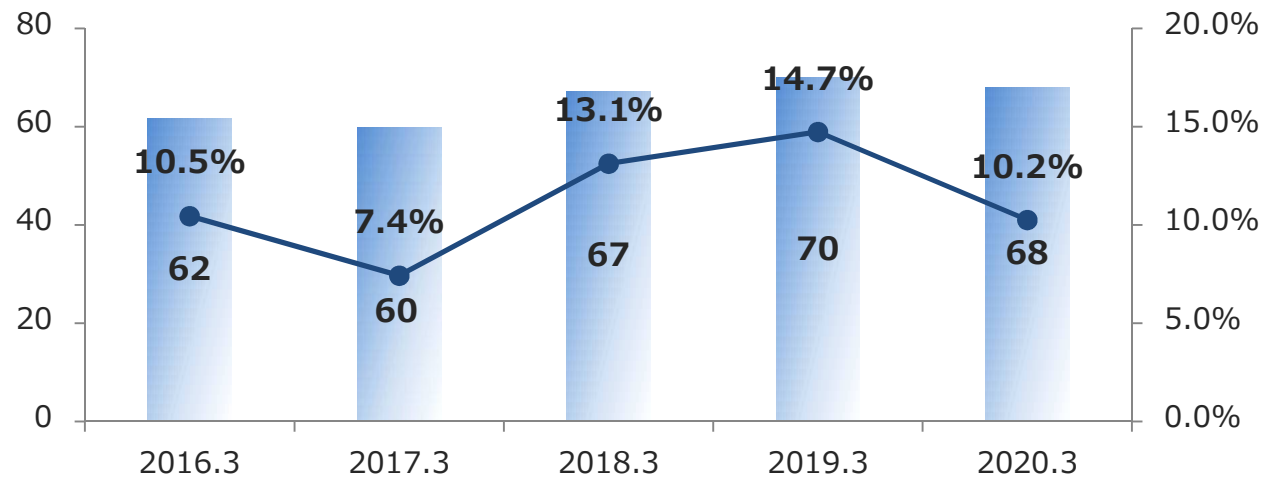
## 受託加工



売上高(億円)

売上高 ● 営業利益率

営業利益率(%)

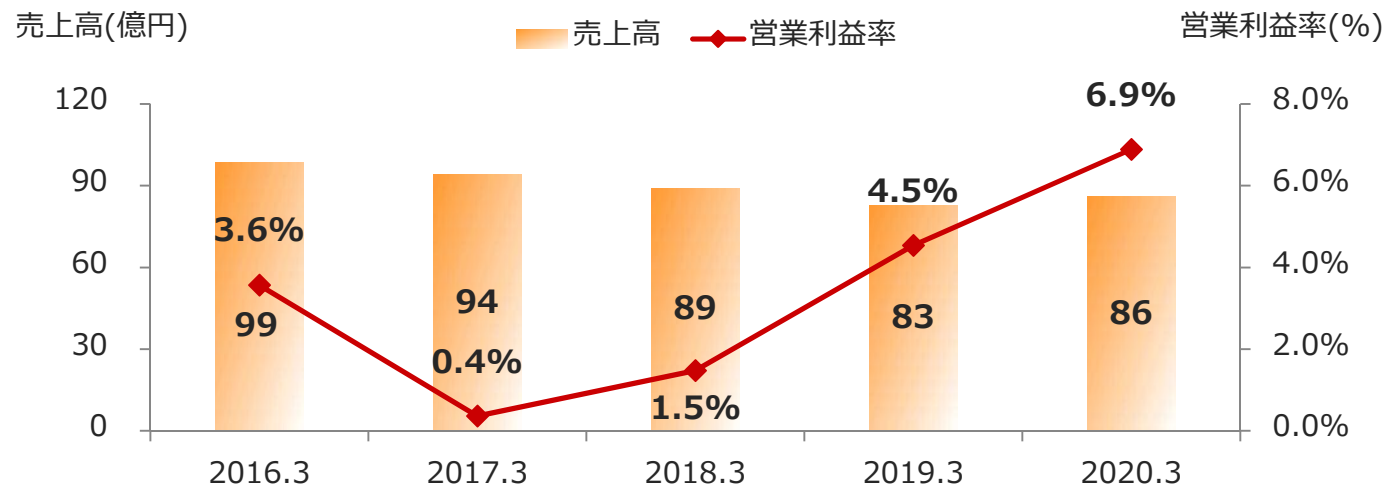
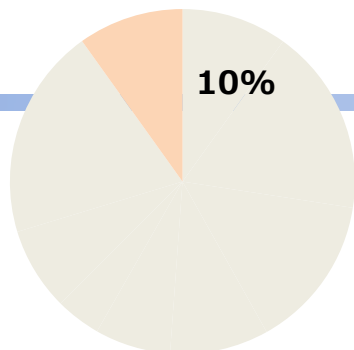


## 2020年3月期のポイント

- 加工顔料については、生産の効率化を目的に2019年にマスターバッチ工場棟を建設した。しかし、新工場での生産品が伸び悩むとともに、浴用剤向けが低調に推移し、生産調整を行ったため、売上・利益ともに減少した。
- 焼成、混合、乾燥等の工程受託については、生産工場および保管倉庫の建設を進めたが、収益性の高い受託品が減少したことにより、売上・利益ともに減少した。
- **前期比 売上高▲189百万円(2.7%減), 営業利益▲333百万円(32.3%減)**

# 医療事業

医療



## 2020年3月期のポイント

- X線バリウム造影剤は、大口検診機関のニーズ対応を強化に努めた結果、国内販売の縮小を最小限にとどめるとともに、韓国・台湾への輸出を増加させ、売上・利益ともに前年並みとなった。
- 「アルロイドG」は、薬価引き下げの影響はあるものの、後発品メーカーの撤退により需要が戻り、売上・利益ともに伸ばした。
- 医療機器は、機器本体の販売台数は伸び悩んだが、メンテナンス契約獲得や消耗品販売が堅調に推移し、売上・利益ともに伸ばした。また、2019年6月に上市した内視鏡手術用粘膜下注入材および注入材用穿刺針が売上に一部寄与した。
- 一般用医薬品は、不採算品目の整理等により、売上は減少したが利益は改善した。また、日焼け対策サプリ「ソルプロ」シリーズが好調に推移した。

# キャッシュ・フロー

金額単位：百万円

	2019.3	2020.3	増 減
<b>期首の現金残高</b>	13,848	11,175	▲ 2,673
税金等調整前当期純利益	5,239	3,999	▲ 1,239
減価償却費	3,189	3,686	497
その他	▲ 5,673	▲ 1,231	4,442
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー（営業CF）</b>	2,755	6,454	3,698
設備の支払額	▲ 6,891	▲ 8,403	▲ 1,511
その他	1,433	▲ 21	▲ 1,454
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー（投資CF）</b>	▲ 5,458	▲ 8,424	▲ 2,966
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー（財務CF）</b>	64	▲ 68	▲ 132
<b>期末の現金残高</b>	11,175	9,148	▲ 2,026

## ◆ 営業CF

売掛債権回転期間の短縮および法人税等の支払い減少により、増加した。

## ◆ 投資CF

電子材料および化粧品材料製造設備の増強、技術開発棟や危険物製造設備の建設など設備投資を行い、減少した。





# 2021年3月期について



# 2021年3月期について

有事対応を最優先とし、引き続き顧客、調達先、社員とその家族の安全確保ならびに感染予防と拡大防止に努め、事業継続に向けた取り組みを行っていく。

## 業績予想

現時点では予測が困難なため、一定の見通しが立った時点で開示する。

## 株主還元

- 現時点では年間配当予想も未定としているが、安定配当と総還元性向30%以上を基本として検討している。
- 現時点では自己株式取得の予定はない。

# 想定される新型コロナの影響と対応

## ■ 化学事業

<b>電子材料</b>	自動車向けについては世界的に生産台数の減少が予測されており、当社製品の消費も大きな影響を受ける恐れがある。一方、積極的な投資が期待される5Gなど通信基地局向けや、テレワークの整備・普及などによる需要が期待される機器分野向けについては、軽微な影響と予想される。前年度から進めている設備投資が2021年3月完工予定であり、来年度以降の需要回復に備える。
<b>酸化チタン・亜鉛製品</b>	顔料用酸化チタンは主用途の塗料、インキ、製紙、繊維などの産業で停滞することが予測されるため、さらなる事業の効率化、最適な生産体制の検討を進めていく。 UVケア化粧品用途では人々の屋外活動が制限されることによりマイナスの影響を受ける恐れがある。前年度から進めている設備投資が2021年2月未完工予定であり、来年度以降の需要回復に備える。
<b>樹脂添加剤</b>	日本国内、アジア市場ともに主要エンドユーザーである住宅、自動車業界の停滞が予測されることから、マイナスの影響を受ける恐れがあるが、コスト削減を図るとともに海外の市場開拓を進める。

# 想定される新型コロナの影響と対応

## ■ 化学事業

<b>衛生材料</b>	原料確保に不透明な点はあるものの、日用品としての消費は必要とされることから、大きな落ち込みは想定していない。技術力の向上に取り組み、事業の安定的拡大をめざす。
<b>有機化学品</b>	多才製品、医薬品原薬・中間体受託のいずれも末端製品の需要の大きな落ち込みはないものと見込まれ、当社製品への影響は軽微なものと予想される。新たなニーズの収集と開発技術力の強化により、次の収益の柱になる製品育成に取り組む。
<b>触 媒</b>	ニッケル触媒の主用途である食油関連、衛生材料向け部材、特殊フィルム等の大きな需要減はないと見込まれる。 脱硝触媒は、海外の新規物件は遅れ等が発生する恐れがあるが、取り換え需要が必ず発生することから大きな影響はないものと予想される。 重金属フリーのポリエステル重合用触媒など環境負荷低減やエネルギー問題に対応した新規触媒の開発に注力する。
<b>受託加工</b>	顧客の試作、開発活動の停滞が予想されることから、新規案件の進捗が滞る恐れがあるが、工場の整備を進めてより強固な生産体制を構築し、新規受託案件獲得に努める。

# 想定される新型コロナの影響と対応

## ■ 医療事業

バリウム	集団検診の延期または中止により、バリウム造影剤の販売低下の恐れがある。
アルロイドG	診療行為の減少により、処方量減少の恐れがある。
医療機器	短期的には内視鏡検査、または手術数の減少が予測されるものの、一定期間で需要が回復するものと予想される。 内視鏡用洗浄消毒器は、内視鏡手洗い施設への販促を進めていく。内視鏡手術用粘膜下注入材および注入材用穿刺針は、大学病院、大規模病院から中小クリニックまで営業強化を図る。
一般用医薬品・その他	かぜ薬「改源」等一般医薬品の一時的な増販は見られるものの、美容医療向け紫外線対策サプリ「ソルプロ」シリーズにおいては、消費者の外出機会減少等により需要減の恐れがある。 美容医療向けにおいては、今後も新製品を投入し、事業拡大を図る。

# 財務の健全性維持の取組み



# 資金需要

中計5カ年の投資計画400億円のうち、戦略投資はほぼ計画どおり進める一方、再構築投資の見直しを行い（中止または先送り）、次のとおり推移する見込みである。

	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3
設備投資	▲8,403	▲11,700	▲6,000	▲5,000	▲4,000
減価償却	3,686	4,200	5,000	5,200	5,400

電子材料および化粧品材料を中心に複数の大型設備投資案件が完工

再構築投資約50億円を先送りし、必要最低限の設備更新投資のみ実施

金額単位：百万円

先行き（市場回復）が不透明で厳しい状況の下、低水準なキャッシュインが予想されるが、2021年3月期に資金需要がピークに達する予定である。

キャッシュを確保および支出抑制し、財務の健全性を維持することが喫緊の課題

# 財務の健全性を維持するために

以下の項目に取り組んでいく。

## 資金調達

- 長短借入金の増額

## 保有資産の 見直し

- キャッシュマネージメントシステムによるグループ内資金運用の効率化
- 棚卸資産の圧縮
- 政策保有株式の売却（株式市場が回復次第）

## その他対策

- 設備投資計画の不急案件は中止または先送り
- コスト削減



# ご清聴ありがとうございました。

本資料は、情報の提供を目的とし、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいるため、実際の業績はこれと異なる結果となる可能性があります。

また、化学事業のサブセグメントの数値は任意で公表しているものであり、監査を受けておりませんので、参考値とご承知おきください。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に依存して投資判断されることにより生じうるいかなる損失に関して、当社は責任を負いません。

# 参 考 資 料

- 当社概要
- 事業紹介
- 業績推移等



# 堺化学工業(株) 会社概要

本 社	堺市堺区戎島町5丁2番地
代 表 者	代表取締役社長 矢部 正昭
創 業	1918年6月
事業内容	無機化学工業製品、有機化学品、医薬品の 開発・製造・販売
総 資 産	121,648百万円
純 資 産	81,492百万円
関係会社	連結子会社16社（国内8社、海外8社）
従業員数	連結2,003名／単体776名（2020年3月末現在）



# 当社グループについて

## 化 学【製造・販売】

堺化学工業(株)

大崎工業(株)

レジノカラー工業(株)

共同薬品(株)

SC有機化学(株)

日本カラー工業(株)

(株)片山製薬所

SAKAI CHEMICAL(VIETNAM) CO., LTD.

SIAM STABILIZERS AND CHEMICALS CO., LTD

PT. S&S HYGIENE SOLUTION

## 化 学【販 売】

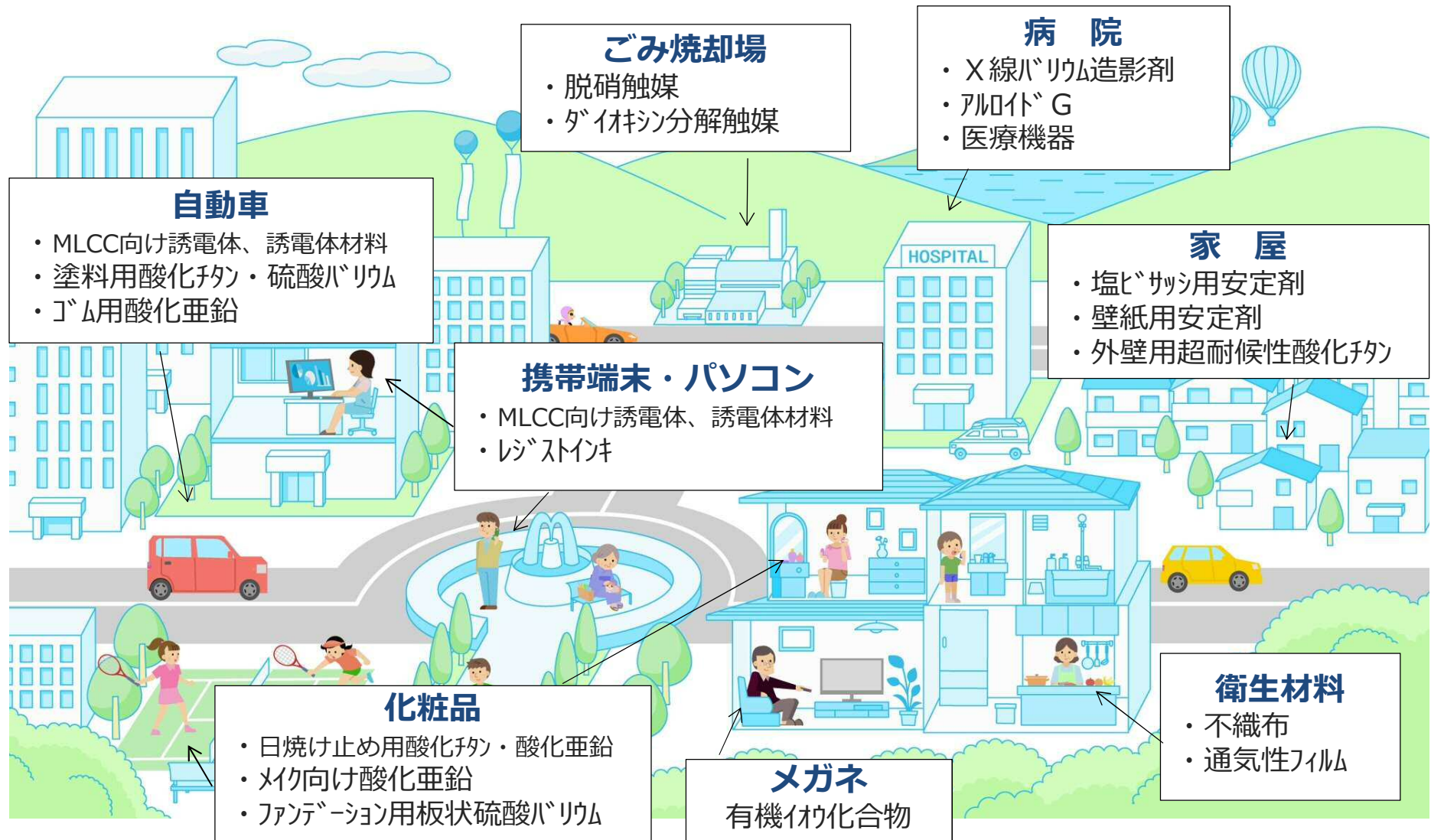
堺商事(株)

## 医 療【製造・販売】

カイゲンファーマ(株)



# 暮らしに息づく当社グループ製品



# 事業内容と売上高構成

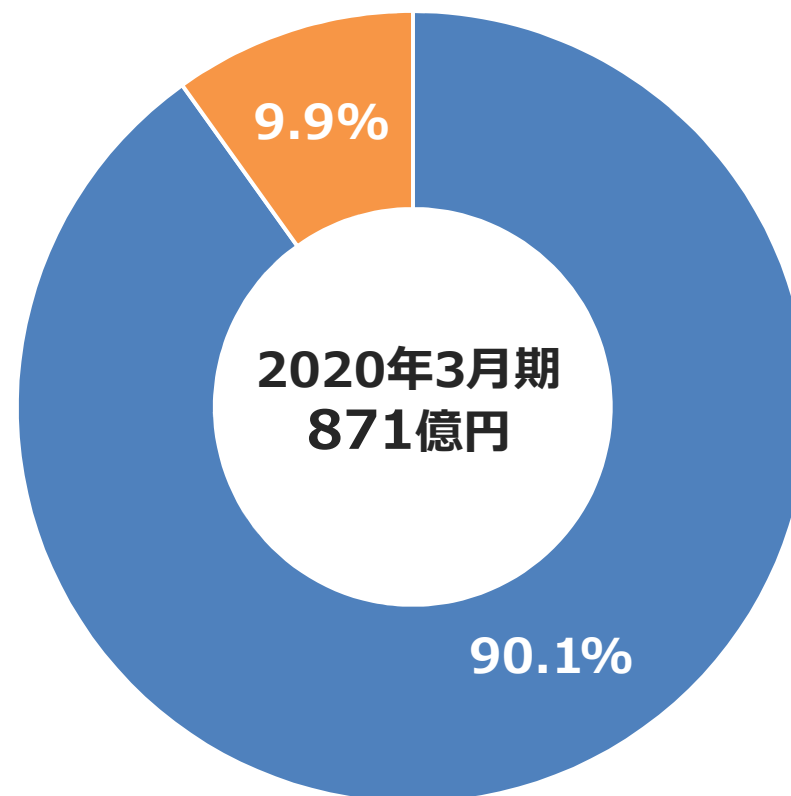
## 医療

バリウム製剤、アルギン酸ナトリウム製剤、医療機器、改源ブランドを柱として、医療用から一般向けまで幅広く医療と健康に貢献する製品・サービスを提供しています。



## 化学

天然鉱石から加工する技術や粉体をコントロールする技術などにより、さまざまな分野に素材を展開している主力事業です。

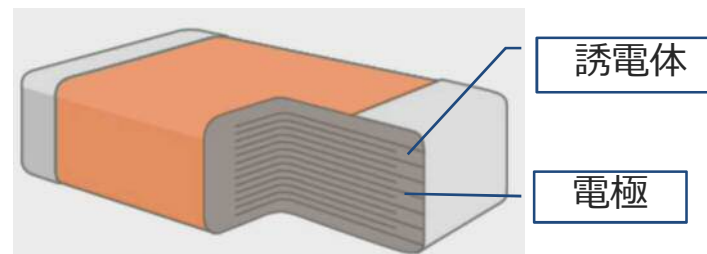


# 事業の紹介 <化学>

## 電子材料

### 積層セラミックコンデンサ

- ・誘電体 (チタン酸バリウム)
- ・誘電体材料 (高純度炭酸バリウム)



電子機器には欠かせない積層セラミックコンデンサのメイン材料。  
誘電体は電気をたくさん貯めたり、ノイズを除去する性質を持ちます。  
当社は、微細で形が均一に揃った球状の誘電体を開発し、コンデンサの性能向上に貢献していきます。

こんなところに  
使われています



# 事業の紹介 <化学>

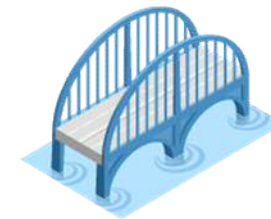
## 酸化チタン・亜鉛製品

- ・酸化チタン…着色力、隠ぺい力、耐候性、化学的安定性に優れる白色顔料
- ・酸化亜鉛…ゴム製品の加硫促進助剤
- ・亜鉛末…建物や橋梁などのサビ止め塗料に
- ・化粧品材料…高い紫外線遮蔽や滑らかな肌触りを実現

酸化チタンは、塗料やインキ、製紙、プラスチック、化学繊維などあらゆる分野に必要とされる素材です。

酸化チタン、酸化亜鉛とともに微細にすると紫外線遮蔽率が高まるため、日焼け止めやファンデーションにも活躍しています。

こんなところに  
使われています





# 事業の紹介 <化学>

## 樹脂添加剤

パイプ、継手、窓枠、壁紙、ワイヤーハーネス

・塩ビ安定剤・非塩ビ安定剤

・ハイドロタルサイト ... 非鉛系塩ビ安定剤や

高い保温性と透明性から農業用フィルムに

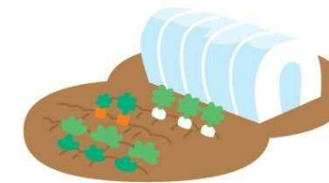


塩ビ安定剤は、樹脂の加工性向上や劣化抑制などのために

添加されます。現在、世界的に塩ビ安定剤の脱鉛化が進んでおり、非鉛系への切替えが加速しています。

ベトナム子会社では非鉛系安定剤およびその原料となるハイドロタルサイトを製造し、東南アジアを中心に販売を拡大しています。

こんなところに  
使われています



# 事業の紹介 <化学>

## 衛生材料

おむつ、生理用品

- ・ 通気性フィルム … 水分を留めて蒸気だけを通す

海外で需要が増加している中、インドネシア子会社では通気性フィルムを製造しています。

こんなところに  
使われています



## 有機化学品

プラスチックレンズ、コンクリート、潤滑油、医薬品

- ・ 有機イオウ化合物 … メガネレンズの屈折率向上、  
コンクリート混和剤としても
- ・ 有機リン化合物 … 潤滑油添加剤に
- ・ 医薬品原薬・中間体

こんなところに  
使われています

有機イオウ化合物BMPAを国内で唯一製造しています。



# 事業の紹介 <化学>

## 触 媒

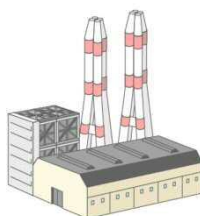
ごみ焼却場、火力発電所、マーガリン、接着剤、光学フィルム

- ・脱硝触媒 … 窒素酸化物を除去
- ・プロセス触媒(ニッケル触媒) … 油脂・樹脂の水素化など

ニッケル触媒は使用先の光学フィルムや紙おむつ接着剤の需要増加に伴い、事業を拡大を目指しています。



こんなところに  
使われています



## 受託事業

無機・有機化学工業製品の受託製造

…顔料、着色剤、機能性インキ、触媒、樹脂添加剤など

さまざまな機械を取り揃え、幅広い分野に対応しています。



# 事業の紹介 <医療>



## カイゲンファーマ(株)

### X線バリウム造影剤

…消化管撮影

1931年に原料となる薬用硫酸バリウムの製造を開始。

定期検診でお馴染みのものですが、海外への輸出も行っています。



### 医療機器

・内視鏡用洗浄消毒器

バリウムから胃カメラ検診への移行に対応。

薬価改定の影響を受けない事業と位置付け、開発に注力しています。



### アルロイドG

…消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬

胃・十二指腸潰瘍の止血や粘膜保護、逆流性食道炎における自覚症状を改善。



### 一般用医薬品

- ・「改源」シリーズ
- ・カイゲン顆粒
- ・カイゲンパックIB顆粒



「メイドインジャパン」品質で台湾市場への販売を開始。

# 主要項目推移・予想

金額単位：百万円

	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
売上高	85,520	83,938	87,223	89,541	87,177	—
営業利益	4,615	4,551	4,690	4,404	4,015	—
経常利益	4,421	4,290	4,279	4,553	4,208	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,340	2,037	2,329	3,606	2,535	—

設備投資	7,133	4,636	3,771	6,891	8,403	11,700
減価償却費	2,169	2,877	3,005	3,189	3,686	4,200
研究開発費	2,773	2,909	3,217	2,951	2,898	2,900



# 化学事業の製品別売上高・営業利益推移

金額単位：百万円

		2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3
電子材料	売上高	6,463	7,398	8,033	8,948	8,630
	営業利益	695	803	969	651	117
酸化チタン・亜鉛製品	売上高	13,051	13,914	15,758	16,341	15,305
	営業利益	236	713	624	304	610
樹脂添加剤	売上高	10,695	11,151	11,934	12,745	12,583
	営業利益	183	530	529	248	169
衛生材料	売上高	9,526	8,177	8,558	8,006	8,070
	営業利益	▲ 96	182	100	246	174
有機化学品	売上高	6,927	6,353	5,979	5,919	6,172
	営業利益	1,256	1,016	548	828	1,271
触 媒	売上高	2,795	2,650	3,427	4,257	3,703
	営業利益	▲ 66	▲ 268	89	289	26
受託加工	売上高	6,168	5,988	6,721	7,000	6,811
	営業利益	645	444	882	1,031	698
その他	売上高	18,315	17,053	17,218	18,040	17,281
	営業利益	1,323	1,015	800	432	356
合 計	売上高	73,940	72,683	77,628	81,256	78,555
	営業利益	4,176	4,435	4,541	4,029	3,421

注：営業利益から本社部門費を差し引いています。

# 化学事業の四半期推移

金額単位：百万円

	2019.3				2020.3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	18,704	20,598	21,600	20,354	19,997	19,396	19,757	19,405
電子材料	2,171	2,368	2,218	2,191	2,161	2,237	1,890	2,342
酸化チタン・亜鉛製品	4,107	3,892	4,244	4,098	4,059	3,582	3,956	3,708
樹脂添加剤	3,062	2,986	3,590	3,107	3,123	3,176	3,243	3,042
衛生材料	1,917	1,990	2,210	1,889	2,159	2,027	1,967	1,917
有機化学品	808	1,371	1,510	2,229	1,583	1,309	1,475	1,806
触 媒	1,080	1,152	1,093	932	903	792	952	1,056
受託加工	1,636	1,841	1,865	1,659	1,696	1,788	1,788	1,539
その他	3,924	4,998	4,870	4,248	4,314	4,485	4,487	3,996
営業利益	1,027	918	1,105	979	1,009	375	1,047	990

注：営業利益から本社部門費を差し引いています。



# カイゲンファーマの製品別売上高推移

金額単位：百万円

	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3
バリウム	2,453	2,315	2,327	2,265	2,291
アルロイドG	1,088	880	860	990	1,221
医療機器	2,074	2,309	2,290	2,373	2,445
一般用医薬品	1,729	1,580	1,463	1,190	1,144
その他	1,445	1,591	1,645	1,608	1,722
合計	8,789	8,675	8,585	8,426	8,823